

令和元年度

【研究主題】

伝わる喜びを味わう児童が育つ小学校英語教育の在り方

～言語活動の工夫と評価の在り方を探る～

具体的には、次のような子どもの姿を目指す

- 他者に伝えたい内容や知りたい内容がある子ども
- 自分が伝えたいことを言語や非言語を駆使して伝えようとする子ども
- 相手が伝えようとする内容を言語や非言語からなんとか理解しようとする子ども
- 他者や相手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとする子ども

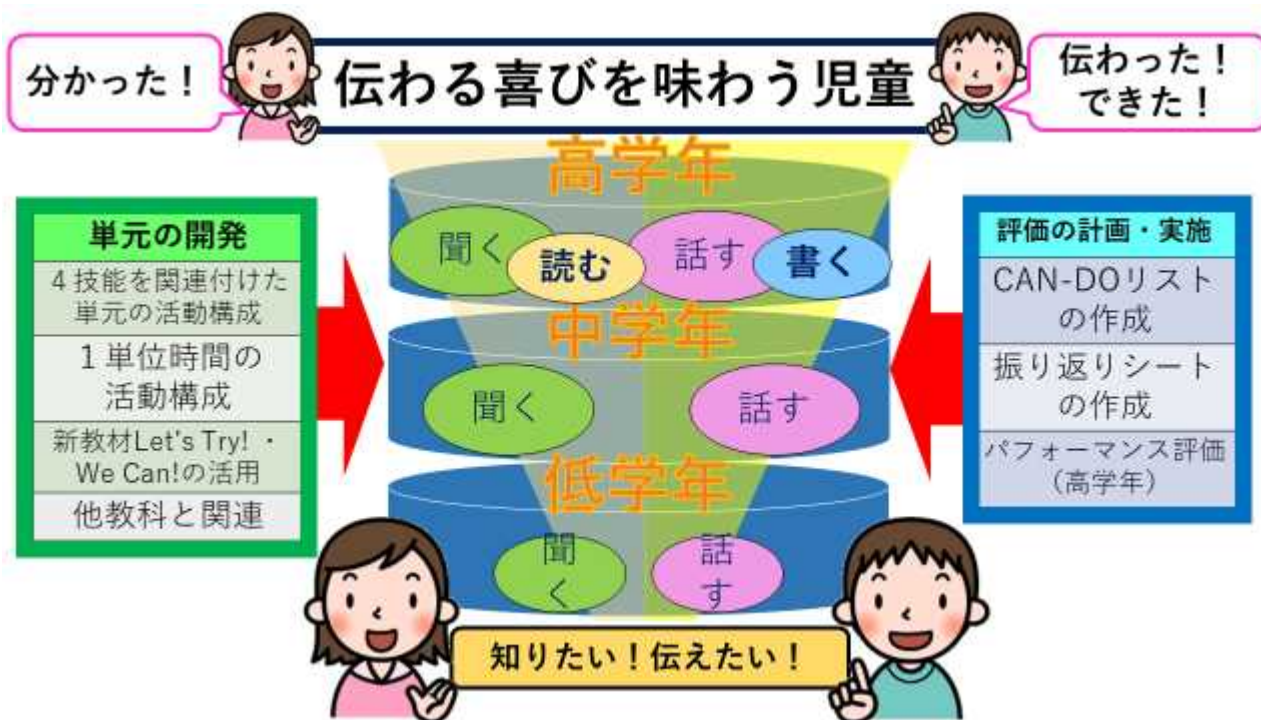
<各学年の具体的な目標>

各学年の 具体的な目標		低学年	中学年	高学年
三つの資質・能力からの具体的な姿	知識・技能	英語の音声や基本的な表現を聞いたり、動作や音まねで言ったりして楽しんでいる。	日本語と外国語の音声との違いに気付く。 英語の音声や基本的な表現を聞いたり、動作を付けて言ったりして慣れ親しんでいる。	日本語と外国語の文法や語順の違いに気付き、理解する。 読むこと、書くことに慣れ親しんでいる。 4つの技能をコミュニケーションに活用している。
	思考・判断・表現等	自分のことについて、身近にある簡単な英語で聞いたり話したりして、楽しんでいる。	身近で簡単な事柄について、英語で聞いたり話したりして、自分の考えや気持ちを伝え合っている。	目的や場面、状況に応じて身近で簡単な事柄について、英語で聞いたり話したりするとともに、推測して読んだり、語順を意識しながら書いたりして自分の考えや気持ちを伝え合ったりしている。
	学びに向かう力・人間性	外国語を使ってコミュニケーションを図る人々との共通点や違いに気付く。 コミュニケーションを図る相手と聞いたり話したりすることを楽しんでいる。	外国語や母語の性質や価値に体験的に気付く。 コミュニケーションを図る相手に配慮しながら聞いたり話したりしている。	外国語やそれを使ってコミュニケーションを図る人々の文化に対する理解を深める。 コミュニケーションを図る他者に配慮しながら聞いたり、読んだり、話したり、書いたりしている。

<取り組み>

- 単元のゴールとなる言語活動と活動構成の工夫
- 単元の毎時間の効果的な指導方法及び内容の開発
- 児童が学びを実感したり、教員が指導を振り返り次の学習へとつなげる評価を探る

<研究の構想>



<実際の授業の様子>

